

2013 年度卒業論文

高校球児らしさの形成について

—虚構と現実を彷徨う若者たち—

選手宣誓資料

	実施年	大会名		実施年	大会名
1	1994	選手権大会	25	2011	選手権埼玉大会
2	1997	センバツ大会	26	2011	選手権静岡大会
3	2002	選手権大会	27	2011	選手権広島大会
4	2007	選手権神奈川大会	28	2011	選手権兵庫大会
5	2007	選手権千葉大会	29	2011	選手権岩手大会
6	2007	選手権長野大会	30	2011	選手権大会
7	2008	選手権北海道旭川大会	31	2012	センバツ大会
8	2008	選手権兵庫大会	32	2012	春季関東大会
9	2008	選手権新潟大会	33	2012	選手権北海道釧根大会
10	2008	選手権神奈川大会	34	2012	選手権兵庫大会
11	2008	秋季関東大会	35	2012	選手権静岡西部地区大会
12	2009	選手権沖縄大会	36	2012	選手権大阪大会
13	2009	選手権北海道旭川大会	37	2012	選手権東・西東京大会
14	2009	選手権新潟大会	38	2012	選手権北海道大会
15	2009	選手権神奈川大会	39	2012	選手権大会
16	2009	選手権大会	40	2013	センバツ大会
17	2010	春季沖縄大会	41	2013	選手権北海道旭川大会
18	2010	選手権沖縄大会	42	2013	選手権東・西東京大会
19	2010	選手権大分大会	43	2013	選手権新大会
20	2010	選手権大会	44	2013	選手権北海道大会
21	2010	秋季沖縄大会	45	2013	選手権山口大会
22	2011	春季沖縄大会	46	2013	選手権大会
23	2011	センバツ大会	47	2013	秋季北海道大会
24	2011	選手権沖縄大会			

1994/8/8 選手権大会 光高（山口） 杉村衛作主将

宣誓 野球を愛する私(わたくし)たちは、あこがれの甲子園球場から全国の仲間にメッセージを送ります。ファイト、フェアプレー、フレンドシップの頭文字「F」のマークをあしらった高校野球連盟の旗のもと私たち選手一同は、苦しいときはチームメイトで励まし合い、辛いときは、スタンドで応援してくれている友人を思い出し、さらに全国の高校生へと友情の輪を広げるため、ここ甲子園の舞台で一投一打に青春の感激をかみしめながら、さわやかにプレーすることを誓います。

1997/3/26 センバツ大会 育英高（兵庫） 衣川隆夫主将

宣誓 あの大震災から 2 年、復興を目指し、人々と共にどんなときにも諦めることのない強い意志と希望を持ち、この甲子園で野球のできる喜びを噛みしめ、感謝の気持ちを忘れず、最後まで悔いの残らぬよう全力でプレーすることを誓います。

2002/8/8 選手権大会 桐光学園高（神奈川） 船井剛主将

宣誓 夢、碧い空の球場でプレーすることを夢見て、希望、常に目標にしてきた憧れの場所、そして今、私たちが輝ける最高の瞬間、この暑い日差しの中、いかなる時も笑顔で元気よく全力で今まで支えてくれた家族、仲間、指導者、全ての人に感謝を込め、今年 2002 年史上最多の 4163 校が目指したこの舞台、全国の野球を愛する高校球児の思いを背負い自分たちの野球の全てをぶつけ、ここ甲子園球場をかなり熱い熱い夏にすることを誓います。

2007/7/8 神奈川大会 市ヶ尾高 三輪健介主将

宣誓 今思うこの夏、熱い思いを白球に託す、誰もが輝けるこの大会を存分に楽しみ仲間を信じる自分を信じる甲子園を目指し全力で戦い高校野球を支えてくれるすべての人々に心から感謝し感動を与え忘れられない夏にすることを誓います。

2007/7/12 千葉大会 銚子商高 嶋田源太郎主将

宣誓 今、僕たちの熱い夏が始まろうとしています。ひたむきに白球を追いかけ厳しい練習に励んだ日々、時に悩み苦しんだとき、励ましてくれたチームメイトとの絆、学校内でグラウンドで成長させてくれた指導者の方々への恩、毎日気遣い、心配し、心から支えてくれた家族への感謝、私たちは多くの方のお陰で心身共に成長することができました。この経験が大きく広がる未来の僕たちの力になると信じます。今日からの試合で一球一球に全力を尽くし甲子園という夢の舞台を目指して高校球児らしく正々堂々とプレーすることをここに誓います。

2007/7/14 長野大会 箕輪工高 山川亮太主将

宣誓 我々選手一同は厳しくも楽しい練習をしてきた最高の仲間と最高の舞台で最高のパ

フォーマンスを発揮し決して諦めない熱い心で長野の夏を宇宙史上最高に熱くすることを誓います。

2008/6/24 北北海道旭川支部大会 旭川高専 橋本舜主将

宣誓 我々選手一同は、野球の本質である楽しむことを忘れず、最高の仲間とプレーできることを誇りに思い、一球一球全力で自分の力すべてを発揮できるようプレーすることを誓います。

2008/6/28 兵庫大会 川西緑台高 時岡脩平主将

宣誓 私たち選手一同は野球ができる環境にあることに感謝し、仲間を信じ、最後まで全力で戦い抜く所存です。また、高校野球の基本である全力発声、全力疾走をゲームセットの瞬間までやり通し正々堂々そして爽やかにプレーすることを誓います。

2008/7/11 新潟大会 長岡高 庄司海斗主将

宣誓 野球、このスポーツに胸踊る甲子園に心奪われ、たった一度しかない青春のすべてをこの日のために捧げてきました。暑く辛い夏の練習、寒く先の見えない冬の練習を乗り越えるために仲間との絆、仲間の大切さに気付く、そして互いに励まし合い一步一步歩んできました。これまで支えて下さった方々への恩返しと思いと野球をやらせて頂けてる感謝の気持ちを胸に最高の笑顔と最高のプレーを90回を迎えるこの大会に刻むことをここに誓います。

2008/7/12 神奈川大会 横浜翠嵐高 原田拓也主将

宣誓 我々選手一同は今まで支えてくれたすべての人たちへのありがとうの気持ちを一打一打に込め、共に努力してきた最高の仲間と伝統ある夏の舞台に立てることを誇り、そして楽しみ、新たな歴史を刻むため全力でプレーすることを誓います。

2008/11/1 秋季関東大会 慶應義塾高（神奈川） 植田忠尚主将

宣誓 我々は高校野球の掲げる3つの「F」すなわちファイト、フェアプレー、フレンドシップを胸に関東の精鋭たちが集う、この晴れの舞台で自分の力を存分に発揮して最高の仲間と共に最後まで正々堂々と戦うことを誓います。

2009/6/20 沖縄大会 向陽高 我喜屋佳祐主将

宣誓 我々選手一同は、このふるさと沖縄の下で最高の仲間たちと大好きな野球ができることを本当に幸せに感じます。思えば、私たちのそばにはどんなときも野球がありました。思いやりをもって支えてくれた家族や指導者、そしてたくさんの人々がいました。そのような、すべての大切な出会いに対しては、ひたすら感謝感謝感謝の一言に尽きます。その

思いを胸に刻み、これまで磨いてきた力と技と心を発揮し正々堂々最後の瞬間までひたむきに白球を追い続けることを誓います。

2009/6/29 北北海道旭川支部大会 上川高 稲尾勇太主将

宣誓 我々選手一同は、冬には大雪の厳しい風雪に耐え、夏にはただひたすら白球を追って猛進し休むことなく練習に励んできました。今ここ、スタルヒン球場でプレーできる喜びと支えてくれたすべての人たちへの思いを込め、仲間を信じ、己を信じ、これまで磨いてきた心・技・体すべてを発揮し、共に過ごしてきた仲間たちとの夏が一日でも長く続くよう甲子園を目指し全力でプレーすることを誓います。

2009/7/11 新潟大会 両津高 徳盛康平主将

宣誓 今日この日をどれだけ待ちわびた人が、この新しい球場でこの大会を迎えられることを誇りに思います。振り返れば、そばにはいつも野球がありました。野球ができる、この揺るぎない気持ちを時には様々な思いがありました。野球が上手くなる喜び、試合に負ける悔しさ、白球を追いかける厳しさ、楽しさ、そして何より今まで支えてくださったすべての方々への感謝、恩返し。これらの気持ちすべてを胸に大切な仲間たちと共に、この夏にかけ新潟県高校野球の歴史に新たな1ページを刻むことをここに誓います。

2009/7/12 神奈川大会 秦野高 白石拓丈主将

宣誓 この大空の下、聞こえる応援、歓声、胸の高鳴り、今まで支え続けてくれた先生、コーチ、チームの方々、そして家族、野球ができるという環境を与えてくれたすべての方に感謝の気持ちを込め、共に汗を流し、時にぶつかり、時に励まし合った仲間と夏という最高の舞台上最後の一球まで最高のプレーをすることを誓います。

2009/8/8 選手権大会 伊万里農林高（佐賀） 吉永圭太主将

宣誓 僕たちは今まで支えてくれた人のために感謝し、この夢の舞台、甲子園球場でプレーできる喜びを感じ、最高の仲間と絆を深め、全国の人々に希望と感動を与え続けます。一生懸命白球を追い91回受け継がれてきた伝統のバトンを未来へ向けて一杯伝えていくことを誓います。

2010/3/21 春季沖縄大会 北中城高 金城孝弘主将

宣誓 我々選手一同は、これまでの冬のトレーニングで培った技術、体力そして精神をこの大会で十二分に発揮できる喜びと誇りを持ち、これまで指導していただいた監督、コーチ並びに支えていただいた保護者をはじめとするすべての方々に心から感謝の気持ちを忘れず春の甲子園に出場する嘉手納高校、興南高校の健闘を讃え両校のプレーに負けぬよう共に戦ってきた仲間と今大会の一戦一戦を白熱した戦いになるよう最後の最後まで諦める

ことなく笑顔で爽やかな、また熱く感動を与える高校生らしいプレーをすることを誓います。

2010/6/19 沖縄大会 宜野湾高 又吉直樹主将

宣誓 我々選手一同はファイト、フェアプレー、フレンドシップの高校野球の精神に則り日頃鍛えたネバーギブアップの気持ちを大切に厳しい練習に耐えてきた仲間たちと大好きな野球を通して今まで応援し支えてくれた家族、友達、先生方に感謝の思いを込めて、この夏を最高の舞台にします。ここ沖縄の地から全国に夢、感動、平和を与える全力プレーをすることを誓います。

2010/7/10 大分大会 宇佐高 清水龍光主将

宣誓 我々選手一同は甲子園を目標に共に笑い、共に泣き、どんな時でも助け合ってきた仲間を誇りに思い、これまで応援し支えてくれた家族や先生方、そしてたくさんの出会いに感謝し、たくさんの人に勇気と感動を与える高校野球の素晴らしさを伝えられるように大好きな野球を高校生らしく正々堂々と最後まで全力でプレーすることをここに誓います。

2010/8/7 選手権大会 福井商高（福井） 小倉凌主将

宣誓 熱い熱い僕たちの夏が今年もやってきました。今、僕たちは全国の球児の代表としての誇りを胸に憧れの舞台甲子園に立っています。今年は連日猛暑が続きました。しかし、僕たちはそれ以上に熱く炎のように燃える気持ちで皆さんに元気を与えたいと思っています。今まで自分たちがやってきたことを信じ、またこの場所で野球ができることに感謝し、明るく笑顔でプレーすることを誓います。夏の夢、今走り出す。

2010/9/11 秋季沖縄大会 首里高 眞榮平優吾主将

宣誓 我々選手一同は新たなチームで日々仲間と練習してきた成果を十分に発揮するとともに、大好きな野球ができるこの素晴らしい環境に感謝の心を忘れず、正々堂々プレーします。今年は沖縄県が甲子園初出場してから 52 年目でついに春夏 2 つの優勝旗を手にすることができました。これを励みに次は私たちが根を震わせ、大地を動かすくらいの迫力ある精神を持ってライバルたちと切磋琢磨し新たな歴史を創り上げていくことを誓います。

2011/3/21 春季沖縄大会 コザ高 幸地啓太主将

宣誓 日頃から支えてくれている両親そして高校野球を支えてくれている皆さんに感謝の気持ちを忘れず、野球部員としての誇りを胸に刻み、見ている人に感動を与えられるよう最後まで全力プレーをし試合ができる喜びを肌で感じ、相手へのリスペクトを忘れず一戦一戦成長することを誓います。

2011/3/23 センバツ大会 創志学園高（岡山） 野山慎介主将

宣誓 私たちは16年前、阪神・淡路大震災の年に生まれました。今、東日本大震災で多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみでいっぱいです。被災地ではすべての方々が一丸となり仲間と共に頑張っておられます。人は仲間に支えられることで大きな困難を乗り越えることができると信じています。私たちに今できること、それはこの大会を精一杯、元気を出して戦うことです。頑張ろう、日本。生かされている命に感謝し、全身全霊で正々堂々とプレーすることを誓います。

2011/6/18 沖縄大会 北山高 大城大地主将

宣誓 我々高校球児は、これまで野球を通して学んだ感謝、努力、思いやりの気持ちをプレーで表現し、苦しい練習を共に頑張ってきた最高の仲間と野球ができることを幸せに思い、今まで支えてくださった監督、コーチ、父母、地域の方々に全力プレーで恩返しします。私たちが大好きな野球ができる中、3月11日に起きた東日本大震災ではたくさんの方々が被災されました。私たちに今できることは最後まで諦めず、全力プレーという野球の種を東日本へ届け、復興という芽の力強い成長を願い、ここ沖縄から全国の先陣を切って、熱い熱い夏の風を届けることを誓います。明けない夜はありません。がんばろう日本、ちばりよー日本。

2011/7/9 埼玉大会 北本高 小川弘輝主将

宣誓 3月11日グラウンドが大きく揺れたあの日。多くの人の悲しみは今も続いています。しかし、被災地の人々のどんなときでも頑張る姿、人と人とが支え合う姿に私たちが勇気を頂いた4ヶ月でもありました。今日、埼玉大会の開幕にあたり私たちは決意を新たにしています。白球にすべての思いを乗せ、この最高の仲間と甲子園という最高の舞台を目指し、一球一球、一瞬一瞬を大切に全力でプレーします。感謝と希望を胸に頑張ろう、日本。頑張ろう、埼玉球児。

2011/7/9 静岡大会 袋井商高 神谷直人主将

宣誓 いよいよ私たちの熱い夏が始まります。東北では未だに野球が満足にできない多くの仲間がいます。今、私たちにできること、それは野球ができる喜びを噛みしめ支えてくれる家族、仲間、すべての人に感謝することです。頑張ろう、日本。私たちはまだまだ未熟です。未熟だからこそ人に何かを伝えることができます。高校球児である自覚と誇りを持ち全力プレーで静岡を熱くすることを誓います。

2011/7/9 広島大会 福山葦陽高 高橋伸明主将

宣誓 あの震災から4ヶ月が経ちました。私たちが何げなく日常を送っている今も被災地では、多くの命やものを失い、満足に野球ができない現状があります。この震災で、野

球ができることがいかに幸せか気づかされました。我々選手一同は、野球生活を支えてくれる家族、満足に野球ができる環境、そして共に戦う仲間感謝し、忘れてはいけない震災を胸に、忘れられない夏になるよう正々堂々全力でプレーすることを誓います。

2011/7/9 兵庫大会 宝塚北高 兼森匡彦主将

宣誓 私たちは2010年春WBCでのJAPANチームの活躍に憧れて高校野球の門を叩きました。それ以来、学業との両立に苦労しながら毎日の活動に全力で取り組んできました。こうして私たちが思い切って野球ができるのも熱く指導して下さった顧問の先生方、同じ夢を追い続けてきた仲間たち、いつも優しく支えてくれた家族、そして私たちの活動をサポートし応援し続けてきてくれた方々のお陰です。現在、東日本大震災の影響で野球をすることさえままならない球児がいる中、私たちにできること、それは私たちをいつも支えてくれたすべてのことに感謝し、笑顔で全力で魂を込めてプレーすることです。私たちはこれより、フェアプレー、ファイト、フレンドシップ、連盟旗に込められた高校野球精神を大切に、正々堂々とプレーすることを誓います。

2011/7/14 岩手大会 盛岡一高 十良沢健二主将

宣誓 かつてない大震災が岩手を襲った今年、私たちは毎日の練習すら満足にできない状況におかれました。野球で繋がっている県内トップ高校の仲間の中にも実際に大きな被害を受けたり、今も避難生活を送っている部員がいます。今回の震災で私たちは野球だけでなく、今まで当たり前でやれてきたことの大切さやありがたさ改めて知ることができました。だからこそ私たちには今大会にかける特別な思いがあります。ふるさと岩手の皆さんに私たち選手の元気な姿と最後まで諦めない姿勢を示したい。そして、これまで関わって下さったすべての人々に対して今日この場所に立てたことへの感謝を伝えたいと思います。そのために自分たちができることはただ一つ。それぞれの試合で持てる力を十分に発揮し全力でプレーすることです。チームをひとつに、高校球児をひとつに、岩手をひとつに、この大会を岩手の未来へ繋がる第一歩とするため私たち選手一同は全身全霊でプレーすることを誓います。

2011/8/6 選手権大会 金沢高(石川) 石田翔太主将

宣誓 春から夏にかけて、どれだけ時間が経っても、忘れることのない、様々なことが起きました。それでも、失うばかりではありません。日本中のみんなが仲間です。支え合い、助け合い、がんばろう、私たちが精いっぱい笑顔で、全国の高校球児の思いを白球に込め、この甲子園から消えることのない、深い絆と勇気を、日本中の仲間届けられるよう、全力でプレーすることを誓います。

2012/3/21 センバツ大会 石巻工高（宮城） 阿部翔人主将

宣誓 東日本大震災から一年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も、当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは苦しくて辛いことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう、日本の底力、絆を。我々、高校球児ができること、それは、全力で戦い抜き、最後まで諦めないことです。今、野球ができることに感謝し、全身全霊で正々堂々とプレーすることを誓います。

2012/5/19 春季関東大会 南稜高（埼玉） 武井和真主将

宣誓 今、日本は相次ぐ自然災害や心を痛める出来事が多く日々不安を抱えています。その中で、私たちは好きな野球ができることに感謝しながら未来を担う若い力をグラウンドで表現し正々堂々と全力プレーを全うすることを誓います。

2012/6/26 北北海道釧根支部大会 釧路東高 岡田翔太主将

宣誓 東日本大震災から1年3ヶ月が過ぎました。被災された方々の中には今もまだ以前とは違う生活を強いられ苦しんでいる方が大勢います。そのような中で野球ができる喜びと感謝の気持ちを我々選手一同は忘れてはなりません。応援してくださるすべての人たちに感動を与えるよう正々堂々全力でプレーすることを誓います。

2012/7/7 兵庫大会 出石高 清水峻治主将

宣誓 東日本大震災から1年4ヶ月。日本中の人々はこのことを決して忘れません。これまで経験したことのない大きな困難を一步步乗り越え復興に向かって歩んでいます。僕たちの心は被災地の高校生の仲間といつも一つです。僕たちは家族や周囲の人々、そしてチームメイトに支えられながら今日まで野球を続けることができました。多くの人々が結集し困難を乗り越えコウノトリの野生復帰を果たしました。今、但馬の空にはコウノトリが悠然と舞っています。今まで支えてくれた皆さんに感謝しながら全身全霊プレーで甲子園への道をスタートすることを誓います。

2012/7/7 静岡西部地区大会 磐田北高 平野滉陽主将

宣誓 私たちは最後まで諦めず正々堂々と戦い抜き静岡から笑顔、勇気、感動を発信します。3年間練習を共にした仲間と気持ちをひとつに最高の夏に挑みます。私たちを支えてくださったすべての方への感謝と母校への誇りを胸にそれぞれの夢や目標に向かって全身全霊でプレーすることを誓います。

2012/7/7 大阪大会 堺工科高 谷本秀暁主将

宣誓 我々選手一同は辛いときもの悲しいときも共に乗り越えた仲間たちとこの大きな晴れ舞台で今、野球ができることに感謝し、そして3年間支えてくれた監督やコーチ、今まで支えてくれた家族への感謝の気持ちを持って全身全霊、最高のプレーで正々堂々と戦うことを誓います。

2012/7/8 東・西東京大会 帝京高 高山裕太主将

宣誓 あの日からおよそ1年半が経とうとしている今、日本は復興に向けて全力を尽くしています。私たち高校球児は、野球のできる環境に改めて感謝し、ハツラツとした最後まで諦めない全力プレーで多くの人々に感動と勇気を与えられるような素晴らしい試合を展開することを誓います。

2012/7/14 北北海道大会 遠軽高 河合和也主将

宣誓 今、私たちは支部を代表してこのグラウンドに集いました。勇気と感動を与える全力プレーで熱い夏にすることを誓います。

2012/8/8 選手権大会 酒田南高(山形) 下妻貴寛主将

宣誓 私が暮らす東北を、そして東日本を未曾有の災害が襲ったあの日から、いま日本は決して忘れることのない悲しい記憶を胸に、それでも復興への道を少しずつ確かな足取りで歩み始め、多くの試練と困難に立ち向かっています。私たちのひた向きなプレーが、明日へと懸命に生きる人々の希望となることを信じ、私たちの躍動する体と精神が、明日へと進む日本の無限の可能性となることを信じ、そして、私たちの追いつける夢が、明日の若者の夢へと繋がっていることを信じます。全国の仲間が憧れたこの甲子園で、湧き上がる入道雲のようにたくましく、吹き抜ける浜風のように爽やかに、正々堂々と全力でプレーすることを誓います。

2013/03/22 センバツ大会 鳴門高(徳島) 河野祐斗主将

宣誓 85回を数えるこのセンバツ大会は、全国の多くの人たちに、夢や感動を、時には明日へ生きる力を与えてくれました。私たち36校の球児たちは、今、こうして、憧れの甲子園の舞台に立てることを、支えてくれた全ての人たちに感謝し、先人たちが積み上げてきた85回の歴史に新たな1ページを加えます。そして、たくさんの人たちの絆に支えられ、掴んだこの甲子園の舞台で、最後まで決して諦めず、全力でプレーすることにより、東北をはじめ全国の困難と試練に立ち向かっている人たちに、大きな勇気と希望の花を咲かせることを、ここに誓います。

2013/6/25 北北海道旭川支部大会 旭川凌雲高 波蓮侑大主将

宣誓 フェアプレー、フレンドシップ、ファイトの精神を守り、我々は日々努力してきました。そして、努力の裏に支えてくれた多くの方々に感謝し、高校生らしく躍動感溢れるプレーで最後まで諦めず奮闘することを誓います。

2013/07/06 東・西東京大会 帝京高 田中将也主将

宣誓 待ちに待った第 95 回全国高等学校野球選手権記念大会東・西東京大会の開幕です。私たちは今まで多くの試練を乗り越えてきました。その中で最も必要とされたものは変わる力です。私たち高校球児は日々の努力を無駄にすることなく技術的にも、精神的にも成長するよう進化してきました。今その集大成を発揮する 때가 やって きました。私たちは夢舞台甲子園を掴むため、第 95 回記念大会という長い球史の 1 ページに恥じない、記録と記憶に残るような熱い熱戦を繰り広げることをここに誓います。

2013/07/10 新潟大会 新津高 山田優気主将

宣誓 人は時に夢を諦めそうになったり、言い訳をして、歩むことをやめてしまうことがあると思います。その回数や挫折の大きさは人それぞれかもしれませんが、しかし、そこで何もしなければ一向に前に進むことはできません。やるしかないんです。この大会もそういった強い気持ちを持った者たちが集まり、その意志を成し遂げたチームこそが勝利の旗を掲げることができると信じています。また野球は 1 人ではできません。たくさんの人との関わりの中に自分がいて、チームがあります。私たちはその方々への感謝や思いを、ただひたむきに野球をすることで証明したいと思います。そして、その姿が見てくださる方の背中を押す力となり、何かをやろうとするきっかけになることを願っています。だからこそ私たちは頂点を目指し、全力で正々堂々と闘い続けることを誓います。

2013/07/13 北北海道大会 駒大岩見沢高 葛西力也主将

宣誓 駒大岩見沢野球部は、この大会を最後に歴史に幕を閉じます。これまでのご声援ありがとうございました。すべての北北海道の仲間たちの思いを胸に正々堂々熱い甲子園の道をこのダイヤモンドで戦うことを誓います。

2013/07/13 山口大会 柳井学園高 広岡侖哉主将

宣誓 今自分たちには野球ができる環境があります。共に戦える仲間がいます。それは決して当たり前のことではありません。同じ日本の中には、野球がしたくてもできない人が沢山います。今自分たちがこの場所に立てることに感謝し、この山口県から全国の方々に元気と感動を届けられるよう一つひとつのプレーに思いを込め正々堂々、全力でプレーすることを誓います。

2013/08/08 選手権大会 帯広大谷高（北北海道） 杉浦大斗主将

宣誓 私たちは今、この甲子園球場に立てることに幸せを感じています。第95回を数える長い歴史の中で様々な困難を乗り越え、本当に多くの先輩方が前を向き夢、感動、勇気を与えてくれました。それを私たちも継承し、また、先輩方に負けないように、決して諦めず、仲間を信じ、未来を信じ、今よりも一歩でも前進します。今生きていること、すべての命に生かされている重みをしっかりと受け止め、高校生らしく爽やかに清々しいプレーをすることを誓います。

2013/10/07 秋季全道大会 苫小牧中央高 矢尻拓真主将

宣誓 この場を借りて、支えてくれるたくさんの人たちに感謝したいと思います。（礼）高校野球を教育の一環と考え、ファイト、フェアプレー、フレンドシップの大義を胸に、ルールとマナーを重んじ、全力で競技することを誓います。